



R.Kaji

THE SAUDI ARABIA ROYAL CUP

第10回 サウジアラビアロイヤルカップ (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 33,000,000円 13,000,000円 8,300,000円 5,000,000円 3,300,000円
付加賞 252,000円 72,000円 36,000円



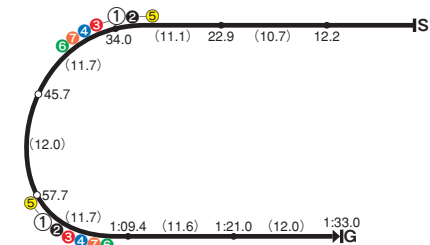
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

2歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2024.10.5 東京 小雨・稍重 芝1600m (国際) (特指)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り 600m (秒)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	①	アルデヴェローチェ	牡	2	56	佐々木大輔	1:33.0	5-6	34.5	458(+10)	3.5②	須貝尚介(栗東)	110
2	⑤	タイセイカレント	牡	2	56	横山武史	1	7-7	34.3	486(±0)	12.9④	矢作芳人(栗東)	108
3	④	マイネルチケット	牡	2	56	戸崎圭太	1/2	3-3	35.2	454(±0)	13.8⑤	宮 徹(栗東)	107
4	⑧	シンフォーエバー	牡	2	56	菅原明良	アタマ	1-1	35.5	500(+4)	25.9⑧	森 秀行(栗東)	107
5	③	アルレッキーノ	牡	2	56	C.ルメール	クビ	4-4	35.2	460(-2)	1.5①	国枝 栄(美浦)	
6	②	ニシノリアノーヴァ	牡	2	56	永野猛蔵	5	6-5	35.8	470(±0)	55.1⑦	古賀慎明(美浦)	
7	⑦	フードマン	牡	2	56	松山弘平	1/2	2-2	36.3	466(+4)	7.8③	小栗 実(栗東)	

単勝①350円(2[△]※) 複勝①230円(2[△]※) ⑤480円(5[△]※) 枠連：発売なし
馬連①-⑤2,040円(7[△]※) ワイド①-⑤520円(6[△]※) ①-④570円(8[△]※) ④-⑤1,100円(12[△]※)
馬単①-⑤3,180円(11[△]※) 3連複①-④-⑤4,470円(17[△]※) 3連単①-④-⑤17,290円(56[△]※)



通過タイム：600m 800m 1000m 上り：800m 600m
34.0 - 45.7 - 57.7 47.3 - 35.3

アラカルト

- ・佐々木大輔騎手はサウジアラビアロイヤルC初勝利。JRA重賞は本年3勝目、通算3勝目
- ・須貝尚介調教師はドルチェモアで制した22年に続くサウジアラビアロイヤルC3勝目。JRA重賞は本年2勝目、通算51勝目
- ・モーリス産駒はJRA重賞通算21勝目
- ・牡馬の勝利は19年サリオス以降6年連続、通算9回目

アルテヴェローチェ *Arte Veloce*

牡 栗毛 2022.2.6生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・大野照旺氏 栗東・須貝尚介厩舎
馬名意味・芸術(伊)＋冠名

クルソラARG系 F8J

モーリス 鹿毛 2011	スクリーンヒーロー 栗毛 2004	グラスワンダーUSA ランニングヒロイン
	メジロフランシス 鹿毛 2001	カーネギーIRE メジロモントレー
クルミネイト 鹿毛 2016	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	クルソラARG 栗毛 2002	Candy Stripes
		Calorica

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA M3×S4
Lyphard S5×M5×M5

INTERVIEW

佐々木淳史 厩舎長(ノーザンファーム空港)

能力の高さを示すレースとなりました

騎乗馴致を始めた頃は心身ともに幼い印象がありました。ただ、ノーザンファーム天栄のスタッフから背中中の良さを評価されただけでなく、思ったより早く進めていけるのではとも言われました。新馬戦を勝ったあとは牧場で調整をしてきましたが、その期間にしっかりと馬体を増やしてくれました。完成はまだ先ながらも、能力の高さを示してくれたレースとなりました。

A. Takeda



7月の初陣(札幌・芝1500m)では4番手追走から伸び、クビ差の接戦に競り勝った本馬。着差は僅かでも2着馬は次戦を6馬身差で圧勝、加速ラップが刻まれたレースを悠々と差し切った内容にも、大物の相が見て取れた。この日も新鋭・佐々木騎手の大胆なリードに心え、爆発的な末脚の威力をアピール。歴代の優勝馬に数々のGIウイナーが名を連ねる出世レースから、今年も楽しみな新星が出現した。

父モーリス

北海道日高町 戸川牧場生産 中央、香18戦11勝(天皇賞(秋)^{G1}、香港C^{G1}、香港マイル^{G1}、チャンピオンズマイル・香^{G1}、安田記念^{G1}、マイルチャンピオンシップ^{G1})、年度代表馬、最優秀短距離馬、特別賞、17年から日、豪で供用〔代表産駒〕**ヒトツ** Hitotsu(ヴィクトリアダービー・豪^{G1}、オーストラリアンギニー・豪^{G1}、ATCダービー・豪^{G1})、**マズ** Mazu(ドゥームベン10000S・豪^{G1})、**ジャックドール**(大坂杯^{G1})、**ビクシーナイト**(スプリングターズS^{G1})、**ジェラルディナ**(エリザベス女王杯^{G1})、**ノースブリッジ**(札幌記念^{G2})、**ダノンマッキンリー**(スワンS^{G2}、ファルコンS^{G2})、**マテンロウスカイ**(中山記念^{G2})、**ディヴィーナ**(アイルランドトロフィー府中牝馬S^{G2})、**シュトラウス**(東京スポーツ杯2歳S^{G2})、**シゲルピンクビー**(フィリーズレビュー^{G2})、**バンクモ** Bank Maur(アリスターククラークS・豪^{G2})、**ノッキングポイント**(新潟記念^{G2})、**アルナシーム**(中京記念^{G2})、**ラーグルフ**(中山金杯^{G2})、**ルークズネス**ト(ファルコンS^{G2})、他に重賞勝ち馬多数

母クルミネイト

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央10戦0勝

アルテヴェローチェ 本馬(22 牡父モーリス)中央2戦2勝(サウジアラビアロイヤルC^{G2}) 獲得総賞金40,452,000円
(23 牡父ロードカナロア)
(24 牡父ボエティックフレアIRE)

祖母クルソラARG

亜、北米4勝(コパデブラタインテルナショナル・亜^{G1}、エンリケアセパル大賞・亜^{G1}、ミルギニーズ・亜^{G1}2着)、07年輸入、23年用途変更

クローチェ(09 馴父ダイワメジャー)中央3勝、地方2勝

ピオネロ(11 牡父ネオユニヴァース)中央6勝(BSN賞^{G2}、白川郷S、むらさき賞、百日草特別、シリウスS^{G2}2着、シリウスS^{G2}3着)、地方3勝(マーキュリーC^J_Ⅲ2着、名古屋大賞典^J_Ⅲ2着)

クルミナル(12 牝父ディープインパクト)中央2勝(エルフィンS^{G2}、桜花賞^{G1}2着、オークス^{G1}3着)、**アライバル**(スプリングS^{G2}2着、新潟2歳S^{G2}2着)、**ククナ**(中山牝馬S^{G2}2着、中山金杯^{G2}2着、七夕賞^{G2}2着、アルテミスS^{G2}2着、クイーンC^{G2}3着)の母

クルミネイト(16 前出)

セレシオン(19 牡父ハーツクライ)中央4勝(弥彦S、阿賀野川特別、梅花賞、新潟記念^{G2}2着)㊟

ホレーショ(21 牡父アイルインパクト)中央1勝 ㊟

爆発的な末脚で出世レースを勝利

2017年のダノンプレミアム以降は7年連続でキャリア1戦、初陣を勝ち上がったばかりの馬が勝利を飾ってきたサウジアラビアロイヤルC。7頭立てで争われた今年は東京の新馬戦で2着に敗れた後、新潟の未勝利戦を7馬身差で圧勝したアルレッキーノが圧倒的な支持を集めたものの、チエルウニアの半弟にあたる良血馬は5着に終わる。これを尻目に豪快な追い込みを決めたのは、1戦1勝のアルテヴェローチェ。対抗候補と目されていたモーリス産駒が、2歳マイル王の有力候補に名乗りをあげた。

朝から小雨が降り続いた秋の東京開催の開幕日。マイネルチケットとシンフォーエバーが先行争いを繰り広げたレースは、3コーナー手前で後者が単騎、主導権を握る。少し渋った馬場稍重に速いラップが刻まれていくなか、重馬場の新馬戦を逃げ切り、3番人気の支持を集めたフードマンが掛かり気味に2番手へ進出。アルレッキーノは3番手に控えたマイネルチケットの外につけ、序盤の好位から徐々に位置を下げたアルテヴェローチェの佐々木大輔騎手はその3馬身ほど後ろ、後方2番手で末脚を温存した。

逃げ粘るシンフォーエバーにマイネルチケットが再び襲い掛かり、2頭が先頭を争った直線の坂上。馬場の真ん中に持ち出され、加速にかかったアルレッキーノは伸び切れず、ジリジリとしか差を詰められない。対して馬群から離れた外へ進路を取り、エンジンに火がついたアルテヴェローチェは鋭い決め手を発揮。内で争う面々をまとめてかわし、一気に突き抜けた。

7月の初陣(札幌・芝1500m)では4番手追走から伸び、クビ差の接戦に競り勝った本馬。着差は僅かでも2着馬は次戦を6馬身差で圧勝、加速ラップが刻まれたレースを悠々と差し切った内容にも、大物の相が見て取れた。この日も新鋭・佐々木騎手の大胆なリードに心え、爆発的な末脚の威力をアピール。歴代の優勝馬に数々のGIウイナーが名を連ねる出世レースから、今年も楽しみな新星が出現した。